

令和7年度道徳教育全体計画

徳島県立中央高等学校定時制課程昼間部

諸法規等
日本国憲法 教育基本法 学校教育法 学習指導要領 徳島県教育大綱 徳島県教育委員会の教育目標

学校や地域の実態と課題
・徳島県全域から幅広い年齢層の生徒を受け入れている。入学の動機や目的は多様である。 ・地域住民は概ね事情を理解し温かく見守っている。県内唯一の定時制昼間課程として地域に理解と協力の輪を広げていくことが課題である。

各教科	
国語	基本的な国語力を培い、創造的な思考力や豊かな感性を養う。
地理歴史	各国の地域的特色や歴史的背景についての理解と認識を深めるなかで、すべての人の基本的人権が尊重される社会の実現をめざす人間を育成する。
公民	人間と社会の在り方についての見方・考え方、幸福、正義、公正などに着目し、諸課題を捉え考察し判断する力を養う。また、現代社会の特質を理解させ社会制度や政治参加のあり方について考察させる。
数学	基礎的な知識の習得と技術の習熟をさせることにより、生活のなかの事象や現象を数学的視点から捉えさせ、社会生活のなかで生きる力を養う。
理科	科学史を通じて先達の生き様を学び、科学的方法を理解し、合理的な自然観を身につけさせることにより、論理的に思考する能力を高め生命の尊さと共生の大切さを知らせる。
保健体育	保健では、生命の尊さや人権尊重の精神を養う。 体育では、公正に協力し、自己の責任を果たすなどの活動を通して、互いを認め合う力を養う。
芸術	芸術的な感性を磨き、創造力を養うことにより、創造性に富む情操や豊かな人間性を培い、充実した生活にする意欲と実践力を育てる。
外国語	日本文化や外国文化に対する理解を深め、多様な価値観を認める態度を養うとともに、積極的にコミュニケーションを図り、幅広い人間関係を築こうとする態度を育てる。
家庭	因習や偏見にとらわれない家庭を築く実践力を養うとともに衣・食・住の充実に努め、個性や人権を尊重し、民主的な家庭生活を送る能力と実践的態度を育てる。
情報	個人情報管理の重要性や高度情報社会におけるさまざまな問題を理解させ、基本的な情報活用能力と情報モラルを身につけさせる。

学校の教育目標
生命を大切にすることを育み、心豊かな人間を育成する。学ぶ意欲と熱意に応えて、多様な学習形態と学習機会を提供し、一人一人の生徒が主体的に学ぶことができる定時制・通信制教育を展開する。

目指す生徒像
・主体的に学ぶことができる生徒 ・社会的・職業的自立ができる生徒 ・人権尊重の精神を尊び、自主的・自立的に行動できる人間

道徳教育重点目標
・互いに人権を尊重し、自立した個性豊かな生徒の育成 ・人権侵害を許さない校風の確立 ・自己指導能力の育成 ・自主・自立の精神の涵養

道徳教員推進教師の役割
・教育活動全体を通じて道徳教育を行う計画をとりまとめて公開し、道徳教育を推進する。 ・郵送冊子やホームページに遵法精神の大切さや規範意識の向上を促す啓発資料を載せる。 ・定時制課程夜間部・通信制課程との道徳教育に関する情報交換に努める。 ・年度末に道徳教育の成果を報告しあう研修を企画する。

昼間部における指導のあり方
・生徒と教師の心のつながりを築くなかで、他者を尊重する気持ちや自尊感情を高めさせるとともに、自発的に取り組もうとする積極性を養う。 ・基礎学力を高めることで、学ぶことへの喜びや自信を持たせ、進路実現に向けて前向きな姿勢で取り組む態度を育む。 ・次に使用する人のことを考えて清掃を徹底することや、自然と挨拶の言葉が出る姿勢を育むことで、社会の一員である自覚と希望を持たせて社会性を培う。 ・知育・徳育・体育・食育は生涯教育の基本であることを認識させ、人生や将来にチャレンジしていく気力と体力を高め、社会参加への自覚と責任を持たせる。 ・規範意識を高め基本的生活習慣の確立を図ることや豊かな感性を高め、生きる力を育むことによって自己実現に努める意欲を高める。

特別活動	
H R 活動	事情の異なる生徒集団のなかで、自己の役割を自覚し積極的に行動する態度を育てることにより、望ましい集団生活を経験させるとともに、良好な人間関係を築き社会性を身につけさせる。
生徒会活動	主体的に活動する経験を通してリーダー性を育て、一人一人の個性や能力を尊重しながら自治的に集団を運営する能力を育てるとともに、学校生活をより充実・改善していくことにより、よりよい集団生活や社会生活を築いていこうとする態度を育てる。
学校行事	思いやりや奉仕の精神などの公共性を養い、集団活動のなかで秩序や規範を守る社会性を育て、集団への所属感を高めることにより、社会生活に欠かすことのできない道徳性を深化させる。

探究の広場（総合的な探究の時間）
・書物・新聞・インターネットを通じて情報を収集・分析し、考察を加えて文章にまとめさせることにより、読む力を養う。同時に社会情勢に関心をもち、物事の見方、考え方を培うことによって、社会に参画する態度を身につける。 ・教師間での意見交換を通じて、教科学習とは異なる方法で、教師・生徒間の心のつながりを築き、自らの感性や生きる力を向上させようとする意欲を高める。

生徒の実態や発達の段階
・生徒の通学区域は多様で中学校の新規卒業生、過年度生で占められる。 ・不登校経験者や発達障害がある者が増えている。また、両親が外国籍をルーツに持つ生徒もいる。高校生としての学校生活を経験できることを喜びと感じている。

教職員や保護者の願い
・多様な生徒の学習活動を支えるため、生徒に寄り添った教育を進めたい。 ・それぞれの目標に沿って計画的に学習し、卒業することを強く希望している。

生徒指導
・社会人として、また、徳島中央高校の生徒として、自覚と責任を持ち良識ある行動をとることを心がけさせる。 ・積極的な学習態度と、計画性のある生活態度を育成する。 ・人格を認め、人権を尊重し合い、心豊かで意義のある学校生活を送ることを指導する。

学校の環境整備や生活全般における指導
・自ら進んで挨拶ができる人間の育成をめざす。 ・清掃活動を徹底し、整理整頓された環境を保つことをめざす。 ・「今日のお知らせ」を掲示し、全生徒に日程等を確認させる。 ・「ホームページ」を月一回更新し、学校生活の様子を伝える。

家庭、地域社会、関係機関、小・中学校・特別支援学校との連携
・「食育便り」を家庭に送付し、命をつなぐ食への感謝や健康について考える機会を提供する。 ・文化祭でクラスごとの模擬店を行い、地域住民に「おもてなし」の精神を伝えさせ、他者を尊重する態度を育む。 ・特別な教育課程（自立活動）やスクールカウンセラーについて情報発信し、問題解決に役立てる。

人権教育
・生徒を理解し、多様なあり方や生き方を認め合うことを目指し、様々な人権課題の解決に取り組む意欲と実践力を養う。

キャリア教育
・キャリアガイダンスを通して学ぶこと・働くことの意義を正しく理解させる。 ・望ましい勤労観・職業観を確立させ進路適性の理解と進路情報の正しい活用を目指す。 ・主体的な進路の選択決定と将来設計を目指す。